

令和 7 年度 臨時社員総会 議事録

日時 令和7年12月6日(土) 14時～

場所 北海きたえーる大研修室

出席者 生島典明、渋谷研一、田中昌幸、須田正毅、高橋克徳、印藤智一、齊藤幸治、家近昭彦、
笹森恭之、太刀川建一、村中 伸、平野龍一、藤原 正(代理)、伊山和宏、木村 豊、
川口智将、村上仁哉、宇野 要、柴田一徳、鈴木和彦、沓沢幸一、山口隆義、西尾亮彦、
高田祐貴、棟本直樹、阿部 豊、大西能正、相澤 智、大門正人、多田吉宏、佐見洋治、
(事務局)倉 豊彦、黒澤久里子、川村美穂、今田萌那、嵯峨亘道(議事録)

1 開会

社員 33 名中18名の出席があり定足数に達していることが報告された。

2 会長あいさつ

今年は、これまでに函館でソフトバレーや帯広で東日本の 9 人制社会人の全国大会が開催された。

SV や V リーグも開幕しており、道内各地でホームゲームが開催され、今後の盛り上がり期待されており、これらを支えて頂いている皆様に感謝申し上げます。

今回は、法人設立後、初めての臨時社員総会となり、MRS 登録料の値上げ等について提案されるので、よろしく審議願う。

3 議長選出

後志協会 木村社員

4 議事録署名人

江別協会 村上社員、滝川協会 西尾社員

5 報告

(1)報告第1号 令和7年度 一般会計補正予算(第2号)について

今次補正は、日本バレーボール協会の「都道府県協会法人化及び登録制度改定」により、法人格を取得した都道府県協会に対し、組織基盤強化補助金として 300 万円を補助する制度が創設され、当協会においても補助交付決定を受けたことから、第2号補正として予算措置を講じるものである。

なお、この補助金については、使途が管理経費に限定されていることから、一般会計の助成金収入として受けたうえで、一般会計の旅費に同額を措置することが、本日開催の第3回理事会において決議されたことから報告され、原案のとおり承認された。

(2)報告第2号 一般社団法人北海道バレーボール協会旅費規程の一部改正について

改正理由は、物価高騰により社会経済情勢が変化し、特に宿泊料金等の著しい価格上昇に対応した旅費制度とするため、旅費規定のうち日当と宿泊費について見直すものである。

改正内容は、第4条の道内日当1,000円を2,000円に、道外日当2,000円を3,000円に改正するほか、第5条の宿泊費を定額支給方式から実費支給方式に見直し、その上で、宿泊先都道府県別に地域の実勢価格を反映し、上限額の範囲内で支給することとし、宿泊先都道府県別の支給上限額を別表に定め、道内宿泊費は10,000円を13,000円に、道外宿泊費は12,000円を宿泊先都府県ごとに支給上限額の範囲で実費支給する。

なお、施行期日は令和7年12月7日とすることが、令和7年9月13日開催の第2回理事会において決議されたことから報告され原案のとおり承認された。

6 議案

(1) 議案第1号 令和7年度 各会計中間決算について

各会計中間決算の提案にあたり、令和7年10月11日に、両監事による中間監査が執行された。

非収益会計の収入では、譲渡収入、会費収入、賦課金収入、事業収入、その他事業収入等の入金があった。一方、支出では、委員会事業費のほか、大会参加料を財源として各種大会を実施する大会事業費、事務局運営等に係る通信費、人件費、会議費等の一般管理費、負担金・助成金等について支出し、収支合計は議案に記載のとおりとなった。

収益会計の収入は、協賛金収入、SV・Vリーグ受託料の事業収入、ジュニアキャンプ等におけるハンドブックやプログラム等の物販収入等が入金された。一方、支出では、SV・Vリーグ用 Wi-Fi 通信料やホームゲーム開催地交付金等の事業費、ルールブック等の仕入費のほか、収益事業に係る人件費や会議費等の一般管理費を、非収益会計と収益会計で按分して支出し、経費算入を図った結果、一般会計の収入は、4,881万5,412円に対し、支出が4,233万1,624円となった。

特別会計の収入は、旧北海道バレーボール協会から受けた譲渡収入、中学強化交歓大会参加料等の事業収入の入金があった。一方、支出では、当初計画どおりに国民スポーツ大会少年合宿事業や中学強化交歓大会事業に対し支出した結果、特別会計の収入は2,614万5,067円に対し、支出が361万円となった。

【採決】

議案第1号は、質疑はなく、挙手多数により原案のとおり可決した。

(2) 議案第2号 MRS 登録料改定に伴う会員会費の額について

これまででも、MRS 個人登録料の改定については、随時、情報提供を行ってきたが、今回、日本協会から示された資料のうち「登録区分(新旧対照表)」、「JVA メンバー制度【登録区分およびチーム・メンバー定義】」が修正された。

修正内容は、年代別に第1種から第5種までの登録区分が追加されたほか、ヤングクラブのチーム区分のうちアンダー19 からアンダー11 までの区分が、第3種(中学生年代)に加わる修正がなされ決定された。

また、「メンバー登録料一覧表(新:2026年度)」資料に記載のとおり、JVA の登録料、全国連盟の登録料が決定しており、今回の臨時社員総会において、当協会の登録料を審議いただくため提案するもの。

北海道協会の登録料については、「MRS 登録状況」、「登録料収入(2024年度)」及び「MRS 登録料改定に伴う登録料収入増額試算」資料に基づき検討を重ね、登録料負担が極力少なくなるよう設定したいと考え、第1種(一般)では、SV・Vリーグを除き、240円から200円の増額、第2種(高校生年代)では300円から100円の増額、第3種(中学生年代)では50円の増額、第4種(小学生年代)では40円の増額、ソフトバレーボールでは400円の増額を、また、第5種(シニア)はヴィンテージを想定して新設され600円とご提案させていただく。

【質疑】

・メンバー登録区分の第1種(一般)の選手がヴィンテージ大会に出る場合は、第5種(シニア)でのMRS登録も必要か？

→全国ヴィンテージ交流大会に出場する場合は、第1種に加え、第5種の登録が必要となる。その場合「JVA メンバー登録料の算出例」資料にも記載のとおり、都道府県協会の登録料が一番高い区分が加算され、活動内容に応じて個々に登録料が確定することになる。(理事長)

・中学生年代の登録区分について、どう変わるのか？また、「JVA メンバー制度【登録区分およびチーム・メンバー定義】」資料には「2026年度まで」との記載もあるが、2026年度以降はどうなるか？

→第3種(中学生年代)の中学校部活については、中学校で部活をしてる者が登録をする。今後、地域展開が進み中学校部活以外で活動する時には、「地域クラブ」か「ヤングクラブ(U15)」に登録するか、個別の活動内容に応じ、全国ヤングクラブ大会に出るのであれば、ヤングクラブにも登録するなど、選択して登録することになる。

SV ユース(U15)については、SV ジュニアチームが登録し、SV 大会を運営することになる。

また、2026年度以降については、当初、日本協会では、ヤングクラブと中体連・地域展開の部分を分けようとしていたが、2026年度は、ヤング連盟の登録チームにシード権が付与されている都道府県もあることから、今回提示した内容となった。今後、全国連盟から正式決定がなされると思う。(理事長)

・第4種(小学生年代)の登録料が40円増額することを保護者等に説明することとなるが、増額理由を提示して欲しい。

→道協会登録料の増額に当たっては、「MRS 登録状況」、「登録料収入(2024年度)」及び「MRS 登録料改定に伴う登録料収入増額試算」資料に基づき検討を重ね、登録料負担が極力少なくなるよう設定した。

第4種(小学生年代)では、試算上15万2,506円の増収となり、これに加え、日本協会増収分から各ブロックに配分される300万円の支援金が見込まれる。

道協会としては、これらを財源として、特に若年層への支援に力点を置いて事業展開を図ってまいりたいと考えている。(理事長)

・例えば、高校生が定時制等で登録し、クラブチームでも活躍するという選手の場合、両方の登録料が適用されるという解釈で良いか？また、複数登録料の金額確認の方法と登録可能チーム数の上限は？

→「JVA メンバー登録料の算出例」資料にも記載のとおり、北海道協会分については1番高い区分の金額が適用されるという仕組みで、全ての区分で登録料が、それぞれ加算される仕組みではない。

また、複数登録については、システムの画面上で不足金額が表示されて確認ができ、登録可能チーム数の上限は、3チームまでとこれまでと同様の取扱いとなる。

なお、「メンバー登録料一覧(新:2026年度)」資料の「協会支部」については、北海道の各地区協会及び連盟において、MRS 登録料に追加して登録料を徴収することがシステム上可能なので、希望する地区協会及び加盟団体は、道協会事務局まで連絡願う。

【採決】

議案第2号は、以上の質疑を経て、挙手多数により原案のとおり可決した。

7 その他

(1)一般社団法人北海道バレーボール協会ホームページのリニューアルについて

当協会ホームページのリニューアルについて進捗を報告する。ページ構成等、核になる部分は、概ね固まってきており、今後デモページを提示して、ご意見をいただきながら、より良いホームページとなるようリニューアルしていきたい。

8 議長退任

9 閉会

閉会后、休憩を挟み意見交換会(グループ討議)を実施した。

議事録署名人

議長

木村 豊

議事録署名人

西尾 亮希

議事録署名人

村上 仁哉